

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

東日本大震災によって、東北・関東では多くの自治体が甚大な被害を受けたが、今後は自治体を中心とした復興が求められている。また、全国の経済状況は依然として停滞しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっている。

特に、地域経済と雇用対策の活性化が求められるなかで、介護・福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結びつけ、これらの政策分野の充実・強化が求められている。2011年度政府予算では地方交付税について総額17.5兆円を確保しており、2012年度予算においても、震災対策費を確保しつつ、2011年度と同規模の地方財政計画・地方交付税が求められているところである。

このため、2012年度の地方財政予算全体の安定確保にむけて、下記のとおり対策を求める。

### 記

- 1 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。
- 2 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。
- 3 地方財源の充実・強化をはかるため、国・地方の税収配分5：5を実現する税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。
- 4 新児童手当の導入に当たっては、旧児童手当の地方負担を上回らないようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成23年年9月22日

あわら市議会

(意見書提出先)

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、経済産業大臣

## < 意見書提出先 >

菅直人

内閣総理大臣

100-8914 千代田区永田町 1-6-1 内閣府

枝野幸男

内閣官房長官

100-8968 千代田区永田町 1-6-1 内閣官房

片山善博

総務大臣

100-8926 千代田区霞が関 2-1-2 総務省内

野田佳彦

財務大臣

100-8940 千代田区霞が関 3-1-1 財務省内

与謝野馨

内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）

100-8914 千代田区永田町 1-6-1 内閣府内

海江田万里

経済産業大臣

100-8901 千代田区霞が関 1-3-1 経済産業省内